

実施方法	科目	内容・目的	時間数
講義動画の視聴	1. 障害福祉等の制度に関する講義		1時間
	障害者福祉施策及び児童福祉施策の最新の動向(講義)	・障害福祉施策及び児童福祉施策の最新の動向について講義により理解する。それにより、利用者の置かれている制度的環境の変化を認識する。	60分
	2. 多職種及び地域連携に関する講義		1時間40分
	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割(多職種連携や地域連携の実践事例からサービス担当者会議のポイントの整理)(講義)	・多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の役割(相談支援専門員との連携や関係機関との連携方法)について講義により理解する。	50分
(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み(講義)	・(自立支援)協議会の意義、目的、活動内容等について講義を通じて理解する。 ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の業務を通して見出される地域課題を解決するための(自立支援)協議会の活用について実践報告等により学ぶ。	50分	

演習 1日目 (予定) 9時30分 ～ 18時30分	オリエンテーション		10分
	1. サービス提供に関する講義及び演習		6時間30分
	モニタリングの方法(講義・演習)	・事業所のモニタリングについて、サービス等利用計画等との連動性を念頭に入れながら、モニタリングの視点・目的・手法等について講義により理解する。事例を通じて、モニタリングの演習を行い、その手法を獲得する。	120分
	個別支援会議の運営方法(講義・演習)	・個別支援会議の意義、進行方法、行うべき事項(個別支援計画作成時、モニタリング時)等について講義により理解する。 ・個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての説明の能力を獲得する。 ・模擬個別支援会議の体験を基に、個別支援会議におけるサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の役割についてグループワーク等により討議し、その役割についてまとめる。	270分

演習 2日目 (予定) 9時30分 ～ 17時30分	オリエンテーション		10分
	2. 人材育成の手法に関する講義及び演習		3時間30分
	サービス/支援提供職員への助言・指導について(講義・演習)	・サービス/支援提供職員への支援内容、権利擁護、法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について講義により理解する。 ・講義を踏まえて、受講者が事業所において実施している助言・指導業務について、グループワーク等により振り返るとともに、今後の取り組み方について討議する。	90分
	OJTとしての事例検討会の進め方(講義・演習)	・事例検討の目的、方法、効果等について講義により理解する。また、事例検討会の実施がチームアプローチの強化や人材育成にも効果を有することを理解する。 ・受講者が持ち寄った実践事例を基に、事例検討会を行い、体験を通して事例検討会の進め方を習得する。	120分
	3. 多職種及び地域連携に関する講義及び演習		2時間30分
	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割(多職種連携や地域連携の実践事例からサービス担当者会議のポイントの整理)(講義)	・多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の役割(相談支援専門員との連携や関係機関との連携方法)について講義により理解する。	講義動画の振り返り 40分
	(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み(講義)	・(自立支援)協議会の意義、目的、活動内容等について講義を通じて理解する。 ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の業務を通して見出される地域課題を解決するための(自立支援)協議会の活用について実践報告等により学ぶ。	
	サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ(演習)	・サービス担当者会議や(自立支援)協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意義、ポイントについてグループワーク等による討議をとおして、連携のあり方についてまとめを行う。	110分
効果測定		10分	